

LAMP®

重量用上吊式引戸 FD80 上ローラー面付デュアルソフトクローザー仕様

品番：FD80DHCMP

施工説明書

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

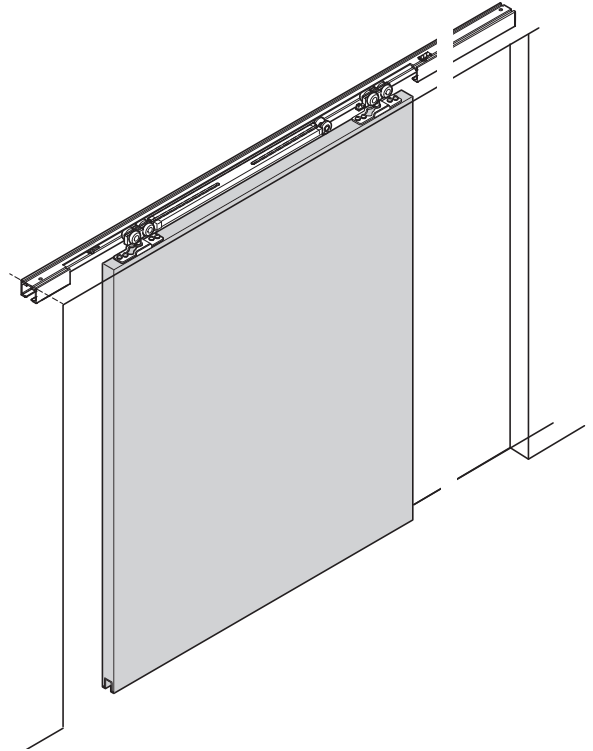
本製品について

- 扉を戸先と戸尻の双方にゆっくりと静かに2段階で開閉させることができる、重量扉用の引戸金物です。

仕様

扉高さ	2500 mm 以下	2501 ~ 2700 mm
扉幅	784 mm ~ 1500 mm	850 ~ 1500 mm
扉厚	30 mm 以上	
扉質量 (1 枚当たり)	80 kg 以下	
扉上下調整範囲	上方向に 4 mm、下方向に 4 mm	

- ・使用場所の温度、操作方法および取付状態などにより、ソフトクローズ機構による扉の閉じる速度は変わります。
- ・使用推奨温度範囲は 5℃ ~ 40℃ です。



正しく安全に施工していただくために

図記号の意味

 警告 注意	 禁止	 厳守
---	---	---


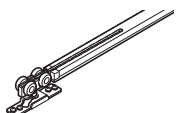


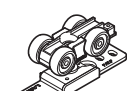
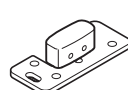



警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

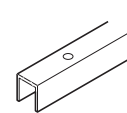
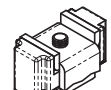
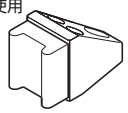

- ❶ 本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをされるおそれがあります。
- ❷ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し、確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上ローラーや扉が脱落してけがをされるおそれがあります。
- ❸ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ❹ 本書で説明する部分以外の分解、および改造はしないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- ❶ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❷ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがローラーの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❸ 本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認ください。また、使用者へ建具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- ❹ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください (お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください)。

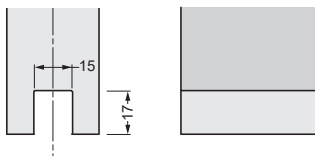
部品一覧

No.	①	②	③	④	⑤	⑥
品名	上レール	デュアルソフトローラー(面付用)	トリガー	トリガー取付治具	上ローラー(面付用)	下ガイドS
品番	FD80-TRM 型	FD80-WRM-DSC		FD80-TRJ	FD80-WRM	FD50-BG18
部品	2000 mm ~ 3640 mm 穴ピッチ :300 mm ピッチエン :30 mm 	 付属:十字穴付なベタタッピンねじ 4×45 ……4ヶ	(②に付属)  付属:十字穴付皿タッピンねじ 4×30(D6) ……4ヶ	(②に付属) 	 付属:十字穴付なベタタッピンねじ 4×45 ……4ヶ	 付属:十字穴付バインドタッピンねじ 4×16 ……5ヶ
片引き戸		1本	1ヶ	2ヶ	1ヶ	1本
引違い戸		2本	2ヶ	4ヶ	2ヶ	2本
引分け戸		2本	2ヶ	4ヶ	2ヶ	2本

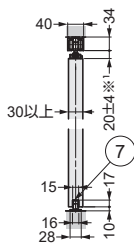
⑦	No.	⑧	⑨	⑩
扉下埋め込みガイドレール FD30-HBRT1500SIL 1500 mm 穴ピッチ :250 mm ピッチエン :30 mm 	品名	ストッパーブロック	戸当り(床付用)	スパナ
	品番	FD80-HSB	FD30-HTKY	FD30-FSP
	部品	引分けの場合、上レール ⑥に2ヶ組み込んで使用 	扉を縦枠に当てない場合 に使用  付属:十字穴付バインド タッピンねじ 4×30 ……3ヶ	 呼び 10.12
1本				
2本				
2本				

寸法図

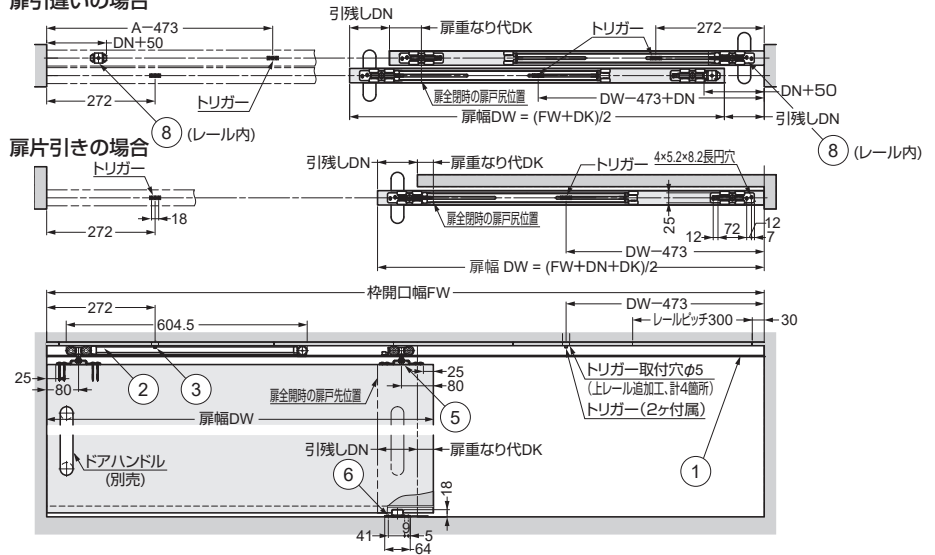
扉の加工寸法



※1 扉の高さは-4 mmから+4 mm
の範囲で調整可能。



扉引違いの場合



施工手順

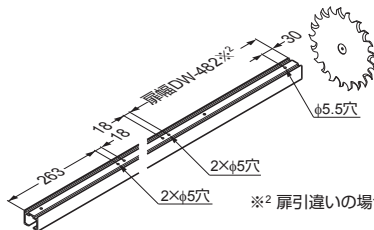
本書は、扉片引き仕様を例に説明しています。

1 取付前の準備、取付け

[1] 上レールの切断・穴加工

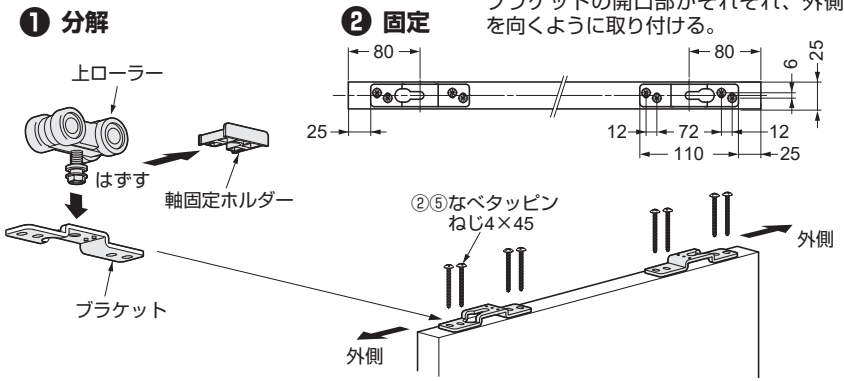
注意

- ① 上レールが変形しないよう、補強材などをに入れて切断してください。
- ② 上レール内のごみやアルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。



※2 扉引違いの場合：扉幅DW - 482 + 引残しDN

[2] ブラケットの取付け

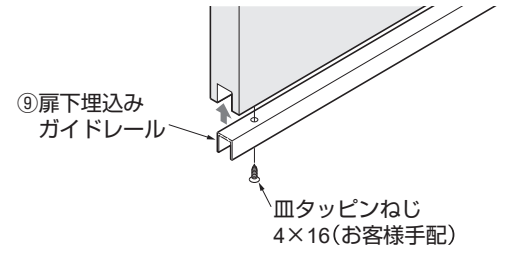


[3] 扉下側埋込みガイドレールの取付け

切断長さ=扉幅

注意

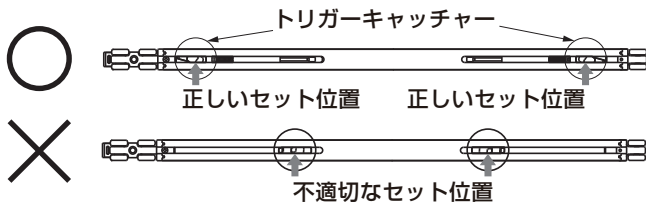
- ① レールが変形しないよう、補強材などを入れて切断してください。



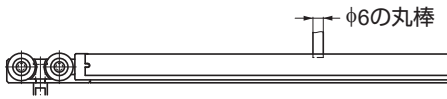
[4] ソフトクローザー取付前の確認

注意

- ① 確認しないで取り付けした場合、扉が引き込まれない故障の原因になります。



位置が正しくない場合、φ6の硬い丸棒等でトリガーキャッチャーを引っ掛けて正しいセット位置に戻す。



動画をご覧ください

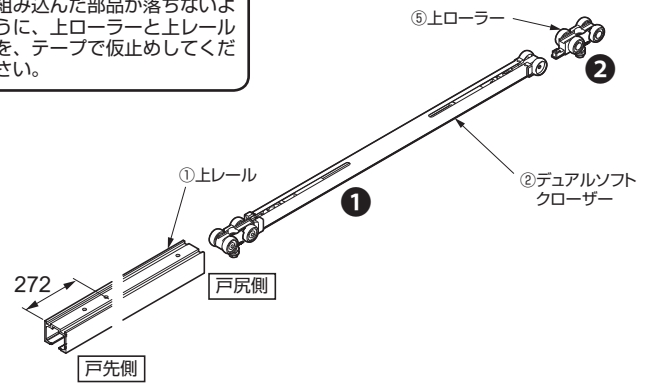


[5] 上レールへの部品の組み込み

各部品の向きに注意し、①、②の順に組み込む。

注意

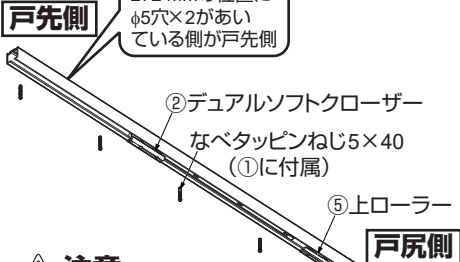
- ① 組み込んだ部品が落ちないように、上ローラーと上レールを、テープで仮止めしてください。



[6] 上レールの取付け

戸先側、戸尻側の向きに注意し、付属のねじで、上枠に固定する。

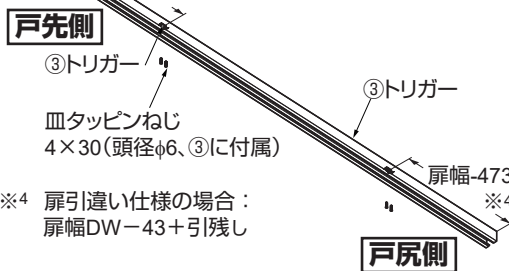
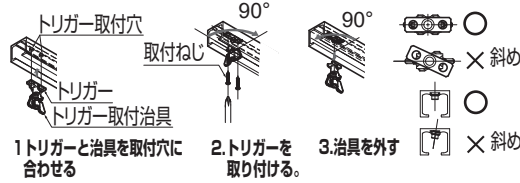
レール端面から272 mmの位置にφ57×2があたりしている側が戸先側



注意

- ① 上レール内のごみや、アルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。
- ② ねじの締めすぎや、ねじ頭の出っ張りに注意してください。レールの変形や、ソフトクローザーの誤動作につながります。

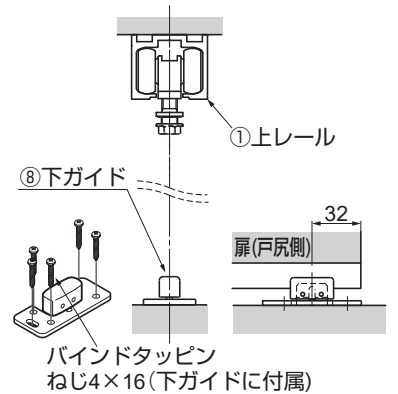
[7] トリガーの取付け



※4 扉引違い仕様の場合：扉幅DW-43+引残し

[8] 下ガイドの取付け

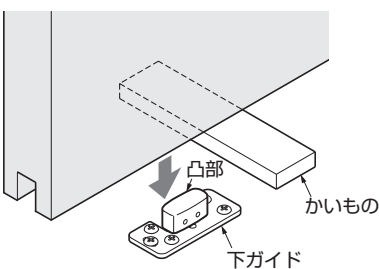
上レールの真下、かつ下ガイドの凸部が扉から外れない位置に取り付ける。



2 扉の吊込み、調整

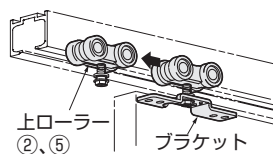
[1] 扉の吊込み(扉下部)

扉の下に10 mmのかいものを置き、下ガイドの凸部に扉下の溝を重ねる。



[2] 扉の吊込み(扉上部)

上ローラーを、扉に付いたブラケットへ横から差し込む。



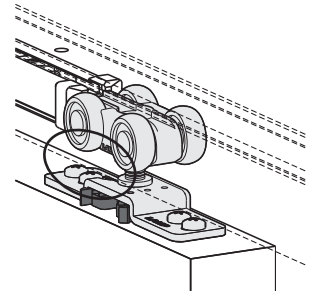
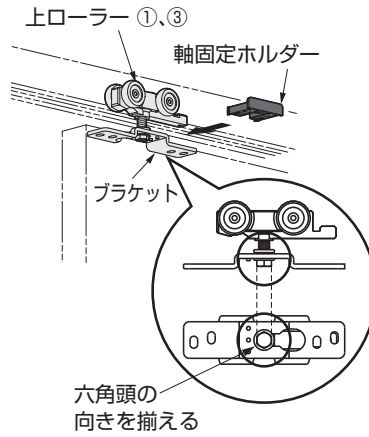
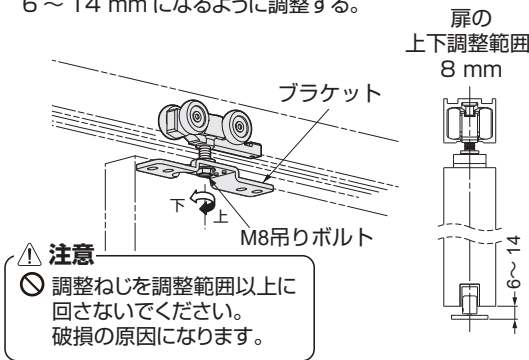
[3] 扉の位置調整

① 扉の下から 10 mm のかいものを外す。

③ 軸固定ホルダーを差し込む。

④ 軸固定ホルダーの爪部がブラケットに引っかかっていることを確認する。

② 扉が上レールと平行で床面とのすき間が 6 ~ 14 mm になるように調整する。

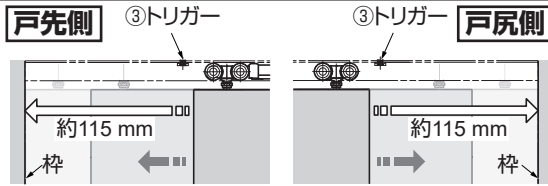


[4] ソフトクローザーの動作確認

- (1) 扉の下からかいものを外す。
- (2) 扉を戸先側にゆっくり動かし、ソフトクローザーがトリガーに当たり、扉がゆっくり、最後まで閉まることを確認する (閉じ始め位置は縦枠の約 115 mm 手前)。
- (3) 戸尻側も同様に確認する。
- (4) クローザーが正しく機能しない場合は下記の **困ったときの対応** を参照。

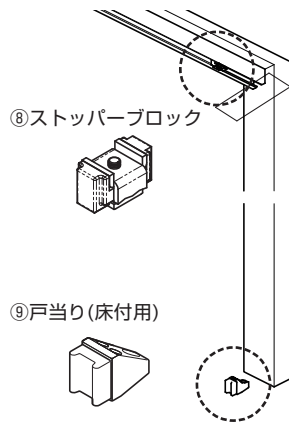
注意

扉を乱暴に閉めないでください。ソフトクローズ機構の故障の原因になります。



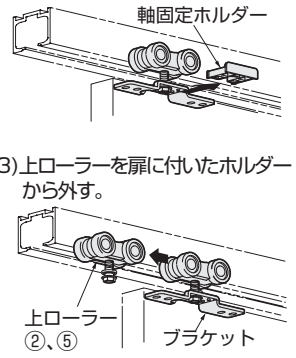
扉を縦枠に当てない場合

オプションの戸当り(床付用)とストッパーブロックを必ず取り付けてください。



扉の外し方

- (1) 扉の下にかいものはさむ。
- (2) 軸固定ホルダーを外す。
- (3) 上ローラーを扉に付いたホルダーから外す。
- (4) 下ガイドから扉を外す。



定期点検

- ・レール内の掃除をしてください。
- ・扉の上下の隙間を確認し、必要に応じて調整をしてください。

困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
扉がソフトクローズの途中で止まってしまう	床面または下ガイドに扉下面がこすっていませんか。 上レールが水平に取り付けてありますか。 モヘア等を使用していませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が 6 ~ 14 mm になるようにしてください。 水平器を利用して上レールを水平に付け直してください。 モヘア等と扉の摩擦を軽減してください。
扉がソフトクローズしない	トリガーが付いていますか。 扉を勢よく閉じていませんか。	トリガーを指定の位置に取り付けてください。 扉を勢よく閉じることは、故障の原因になりますのでおやめください。
扉の開閉時に異音が発生する	P.3 手順【4】のトリガーキャッチャー位置が変わってしまった可能性があります (上レールに組み込んだ状態では確認できません)。 床面に扉下面が擦っていませんか。 扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	扉と上レールを取り外し、手順【4】の確認をしてください。 上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が 6 ~ 14 mm になるようにしてください。 扉が隣接するものところすらないように扉の前後調整、または下ガイドの位置を調整してください。
扉の開閉が重い	上レール内のローラーにごみやアルミの切粉が付着、または刺さっていませんか。 レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	上レールを外し、ローラーを引き抜いてごみや切粉を取除いてください。 ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
扉の開閉が重い	床面に扉下面が擦っていませんか。 扉が隣接する箇所とこすっていませんか。	上レールを取り付けているねじに緩みがないことを確認した後に扉の高さ調整をし、床面と扉下面との隙間が 6 ~ 14 mm になるようにしてください。 扉が隣接するものところすらないように扉の前後調整、または下ガイドの位置を調整してください。
扉が開閉しない	上レールを枠に取り付けているねじが緩んでいませんか。	ローラーがねじに接触しないよう、ねじを締め直してください。
勝手に扉が開閉してしまう	上レールが水平に取り付けてありますか。	水平器を利用して上レールを水平に付け直してください。

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL: 03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30
E-mail: support@sugatsune.co.jp

2022.01. 0515-8